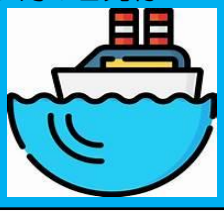
令和８年度　つかわき便り

令和８年７月１日発行

遊楽船（ゆうらくせん）７月号



施設長　福永政和

世界中の注目を浴びてFIFAワールドカップ2026北中米大会が開催されています。日本は順当に予選を勝ち上がり、初のベスト１６をかけて過去に優勝５回を誇るブラジルと対戦、１－２で惜敗。ピッチに倒れこみ大粒の涙を流す選手の姿がありました。それでも強豪国と互角に戦う姿に感動と元気をもらいました。たとえサッカーになじみがなくても、やはり世界大会となると「侍ブルー」に声援を送り、一喜一憂してしまいます。同じように母国への応援に,熱狂するサポーターたちの姿に愛国心を感じます。

その中で、W杯へ初出場のカボベルデというランキングではかなり格下の国が優勝候補のスペインに０－０で引き分け、歴史的な勝ち点１を手にしたと大きく報じられていました。特に注目はゴールキーパーのボジニャ選手。最年長40歳のボジニャ選手は「無敵艦隊」の愛称で知られる強豪スペインの多くのシュートを防ぎ、クリーンシート（無得点）を達成、インスタグラムのフォロワーは爆発的に増えているそうです。彼の夢は「いつか大好きな母親に、ワールドカップでプレイする姿を見せることだ」と語っていたようです。４０歳にして夢を叶えたこれまでの努力や情熱に加え、素敵な家族愛にも心を打たれますね。

さて、夢を願うといえば、日本の伝統「七夕」がやってきます。皆さんは、短冊にどんな願い事を書かれるでしょうか。利用者の皆さんが各班活動で制作した七夕飾りや短冊を結び付け、先日、リビングに飾ったところです。それぞれ思い思いに願いを書きこまれていました。年齢を重ねてくると、やはり「健康、元気」といった言葉、また、「今年も元気で旅行に」と楽しみを実現したいとの願いも多くあります。「念ずれば夢開く」といいますが、ボジニャ選手のように、念じながらも日々のたゆまぬ努力の積み重ねこそが夢の実現へと向かわせるのでしょう。利用者の皆さんが、健康、元気で笑顔で毎日を過ごせますよう、また、大好きな外出や旅行にも行けますよう、歩行などの運動や睡眠、栄養、規則正しい生活など継続して、充実した支援に心がけたいと思います。

ところで、利用者の皆さん一人一人の昨年度の思い出をまとめたアルバムが完成し、先日お渡ししてあります。アルバム制作を復活させて３年が経ちます。毎年、担当職員が愛情込めて作成してくれています。帰省や来園の際、ぜひ一緒に思い出を振り返ってみてください。また、数十年前のアルバムを開くと、利用者の皆さんの若いころの思い出が懐かしく蘇ってきます。障害者スポーツ全国大会へ出場するなど、活躍した利用者さんもいらっしゃいます。お互い若いころには戻ることはできませんが、ボジニャ選手のように年齢など気にせず、若者に負けるものかと、何かしらの夢や目標をもって生き生きと過ごしたいものです。

W杯という最高峰の舞台で優勝という夢を叶えるチームはたった一つ、他は必ず負けることになります。それでも、それぞれが夢の実現に向かう情熱、魂があるからこそ、どのチーム、どの選手も輝いて見えるのでしょう。梅雨が明けると天の川がよく見える季節がやってきます。私自身も彼らの情熱に元気をもらい、星空を眺めながら、もう一度これからの人生を奮い立たせてみたいと思います。

初めての紙芝居、読み聞かせ

５月２８日（木）、国分在住の益山さんに来園していただき、紙芝居や読み聞かせを実施しました。民生委員でもある益山さんは、日頃から多くの学校や幼稚園等でこうした活動にボランティアで取り組んでいらっしゃる方です。利用者の皆さんにとっては初めての試みでしたが、興味深く聞き入っていました。また、楽しい歌なども取り入れていただき、とても楽しい時間となりました。「とても楽しかった」と利用者の皆さんの言葉に益山さん自身も嬉しかったようです。今月も来ていただける予定です。新たな楽しみが、一つ増えました。

田植えに精を出しました（たいよう班・陶芸班）

６月１０日（水）、１１日（木）、今年もたいよう班、陶芸班で田植えをしました。幸いにも梅雨の合間の晴れ間が続いてくれたことで、段取り良く作業できました。

昨年度はコメ不足と高騰などもあり、政府の備蓄米の放出が大きなニュースとなりました。コメ離れが進むのではないかとの懸念もあるようですが、やっぱり日本人にとってはお米の味が一番です。秋の豊作を願いながら、みんなで気持ちの良い汗を流しました。

たいよう班は大忙し！

　たいよう班はこのところ大忙し。梅の収穫に始まり、玉ねぎやジャガイモの収穫と選別と出荷、また、前述した田植えと充実の日々でした。

　今年の玉ねぎは大豊作、大玉の立派な玉ねぎがいっぱい収穫できました。近くの道の駅「ふくふくふれあい館」で販売しています。しかしながら、ジャガイモは虫にやられて商品にならないものが多く残念。せっかく育てた作物ですので無駄にしないようにと市内のこども食堂などに寄付して喜んでいただきました。

小原さん、お母様との面会

　６月３日（水）、利用者の小原さんをお連れしてお母様との面会に行ってきました。現在、お母様は鹿児島市のグループホームで過ごされており、前回の同行は昨年１２月でしたので半年ぶりの面会となりました。久しぶりの面会にお母様もとても喜ばれ、笑顔いっぱいでした。いくら年を重ねようとも、子を思う母の姿は変わらないもの、心打たれるひとときでもありました。

なでしこ班、こすもす班外出

　６月１９日（金）、なでしこ班は霧島方面へ外出し、食事や温泉を楽しんできました。また、こすもす班は２４日（水）、鹿屋方面へ外出、鹿屋バラ園での散策や買い物を楽しんできました。梅雨時期のうっとおしい天気が続いていましたので、外出しての温泉や散策、買い物はとてもいい気分転換になり、みなさん、とても笑顔でした。

お世話になりました。

２年４か月勤務した支援員の橋口 和が自己都合により退職することとなり、ささやかではありましたが、利用者の皆さんとのお別れ会を開催しました。

担当してもらった漆間さんから感謝の挨拶と歌のプレゼントがありました。また、「スイートピーの会（自治会）」からお花をプレゼントしました。私たちももちろんですが、お別れは利用者の皆さんにとってはとても寂しいものです。本人の将来を見据えての退職に、涙しながら応援メッセージを添えて抱き合う利用者の姿もありました。つかわきでの思い出を大切に、今後の活躍を願いたいと思います。

思い出のアルバムを配布

令和７年度一年間の利用者の皆さんお一人お一人の思い出を綴った手作りのアルバムが完成し、６月上旬に担当職員からプレゼントされました。皆さん、とても嬉しそうにしていました。

写真の現像等に少々時間を要するため、全員そろっての配布がこの時期になりました。担当職員が心を込めて作成したアルバムです。帰省や面会の際に是非一緒に見ていただけたら有難いです。

スイートピーの会主催の誕生会

Happy Birthday

６月生まれの利用者さんの誕生会を６月２１日（日）に開催しました。

６月生まれは、今吉幸一郎さん、東治久さん、桑木野京子さん、山口さき子さん、福森和也さん、杉谷岩彦さんの６人です。プレゼントを手に皆さん笑顔でとても嬉しそうにされていました。益々お元気で。